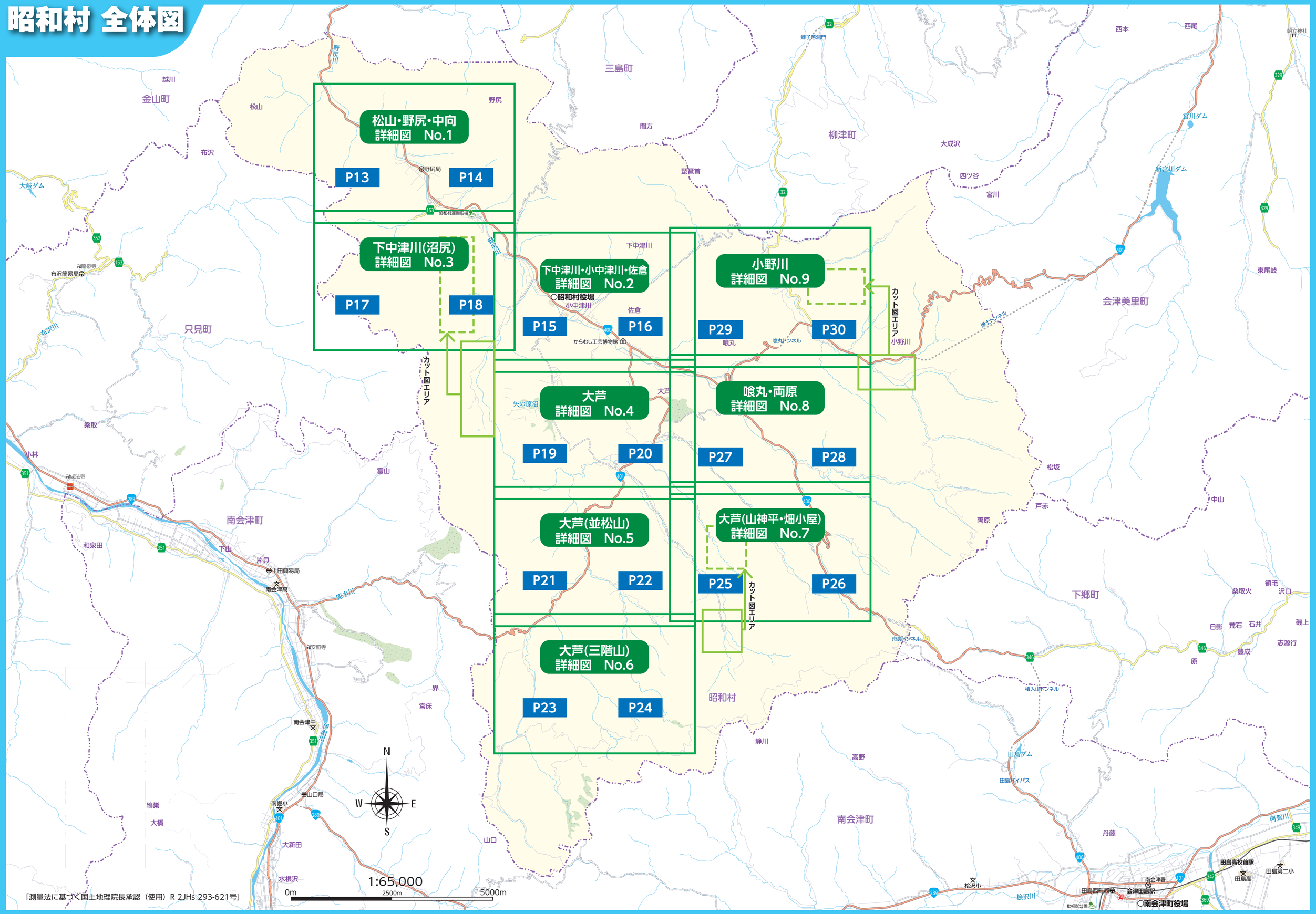
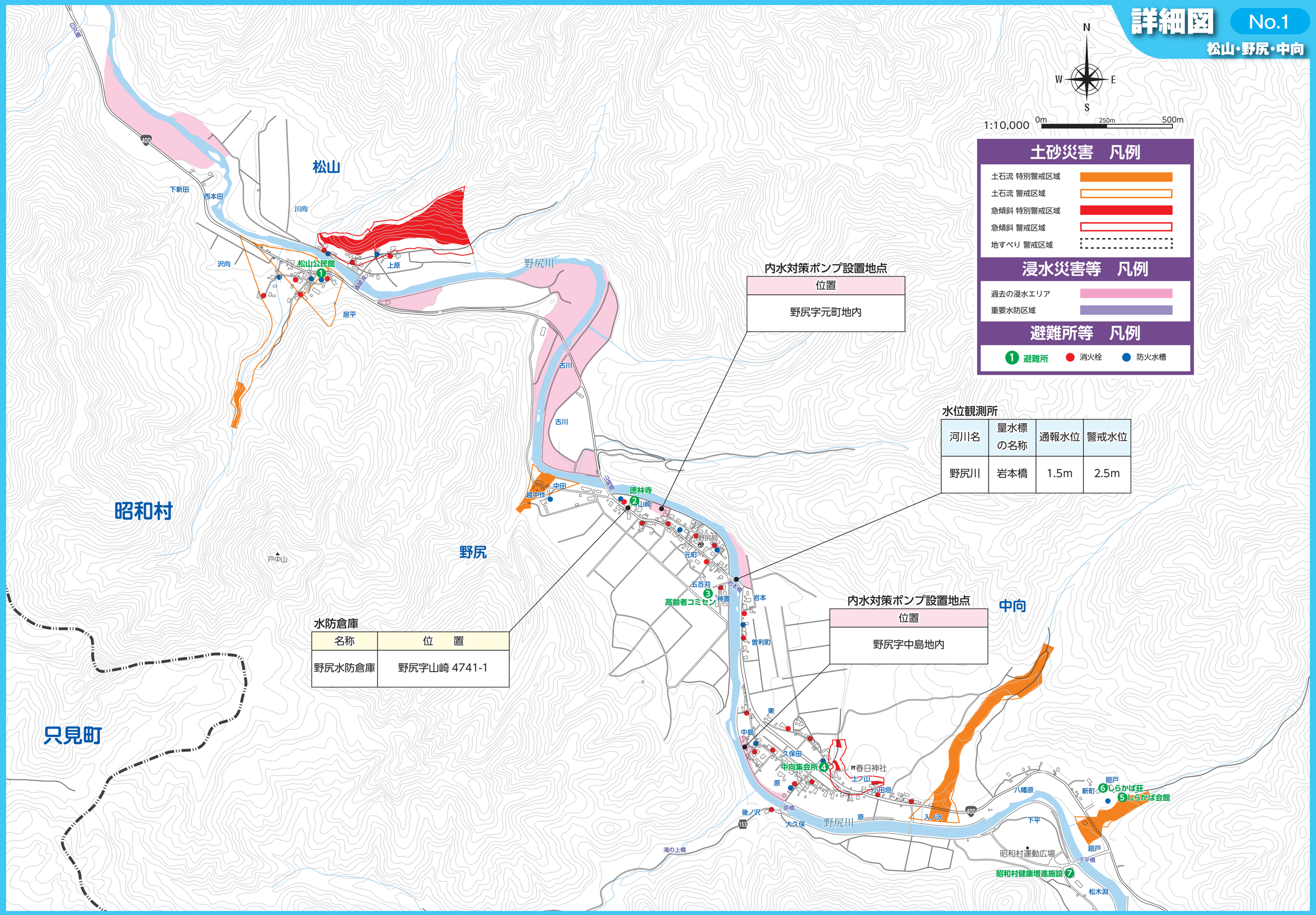
昭和村 全体図



松山・野尻・中向
詳細図 No.1
P13
P14
下中津川(沼尻)
詳細図 No.3
P17
P18
下中津川・小中津川・佐倉
詳細図 No.2
P15
P16
小野川
詳細図 No.9
P29
P30
大芦
詳細図 No.4
P19
P20
喰丸・両原
詳細図 No.8
P27
P28
大芦(並松山)
詳細図 No.5
P21
P22
大芦(山神平・畑小屋)
詳細図 No.7
P25
P26
大芦(三階山)
詳細図 No.6
P23
P24
カット図エリア
金山町
三島町
柳津町
只見町
会津美里町
南会津町
下郷町
昭和村
N
W
E
S
1:65,000
0m
2500m
5000m
「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 293-621号」

詳細図 No.1

松山・野尻・中向



土砂災害　凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 地すべり 警戒区域

浸水災害等　凡例

- 過去の浸水エリア
- 重要水防区域

避難所等　凡例

- 1 避難所
- 消火栓
- 防火水槽

内水対策ポンプ設置地点

位置
野尻字元町地内

水位観測所

河川名	量水標の名称	通報水位	警戒水位
野尻川	岩本橋	1.5m	2.5m

水防倉庫

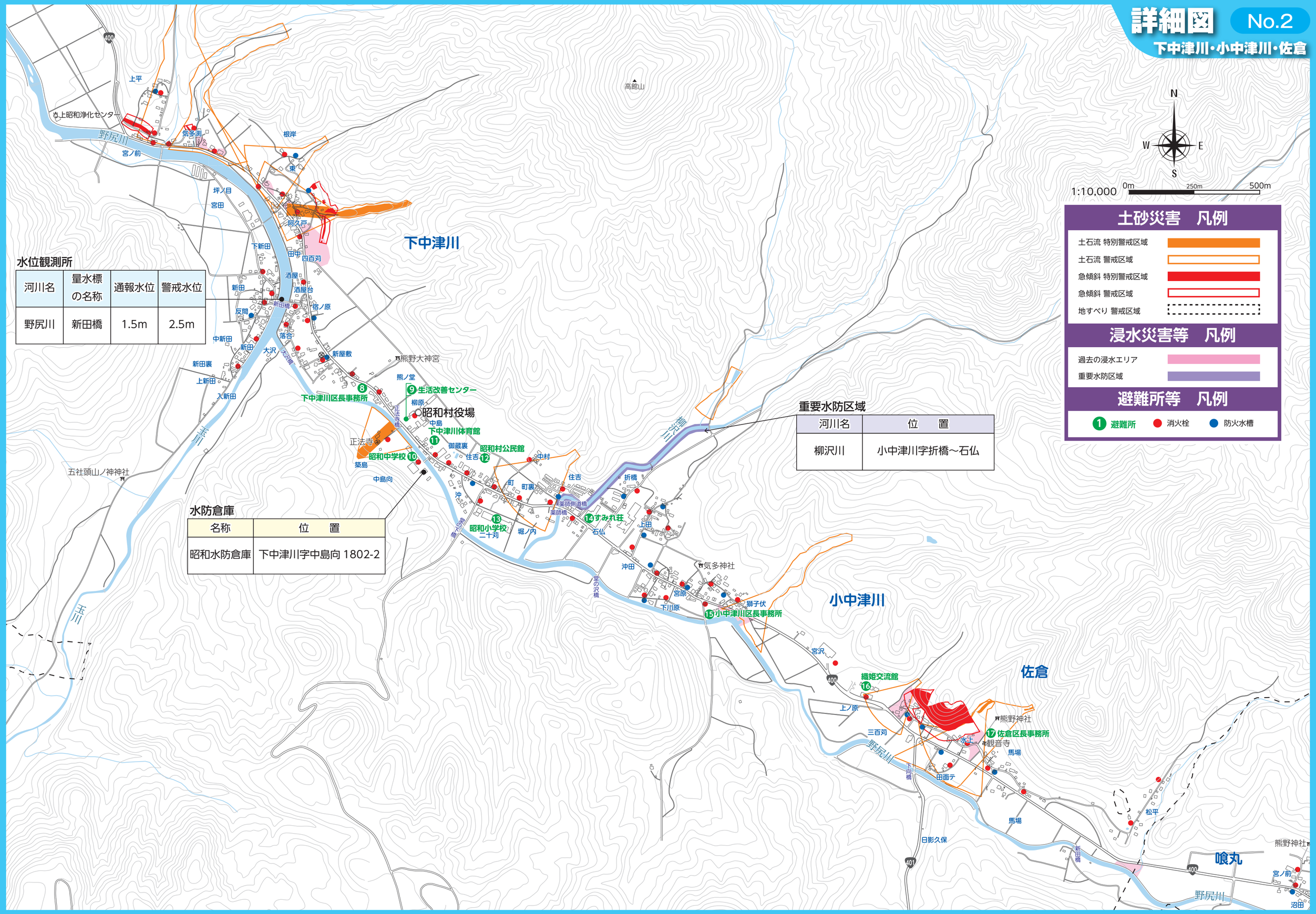
名称	位　置
野尻水防倉庫	野尻字山崎 4741-1

内水対策ポンプ設置地点

位置
野尻字中島地内

詳細図 No.2

下中津川・小中津川・佐倉



水位観測所

河川名	量水標の名称	通報水位	警戒水位
野尻川	新田橋	1.5m	2.5m

重要水防区域

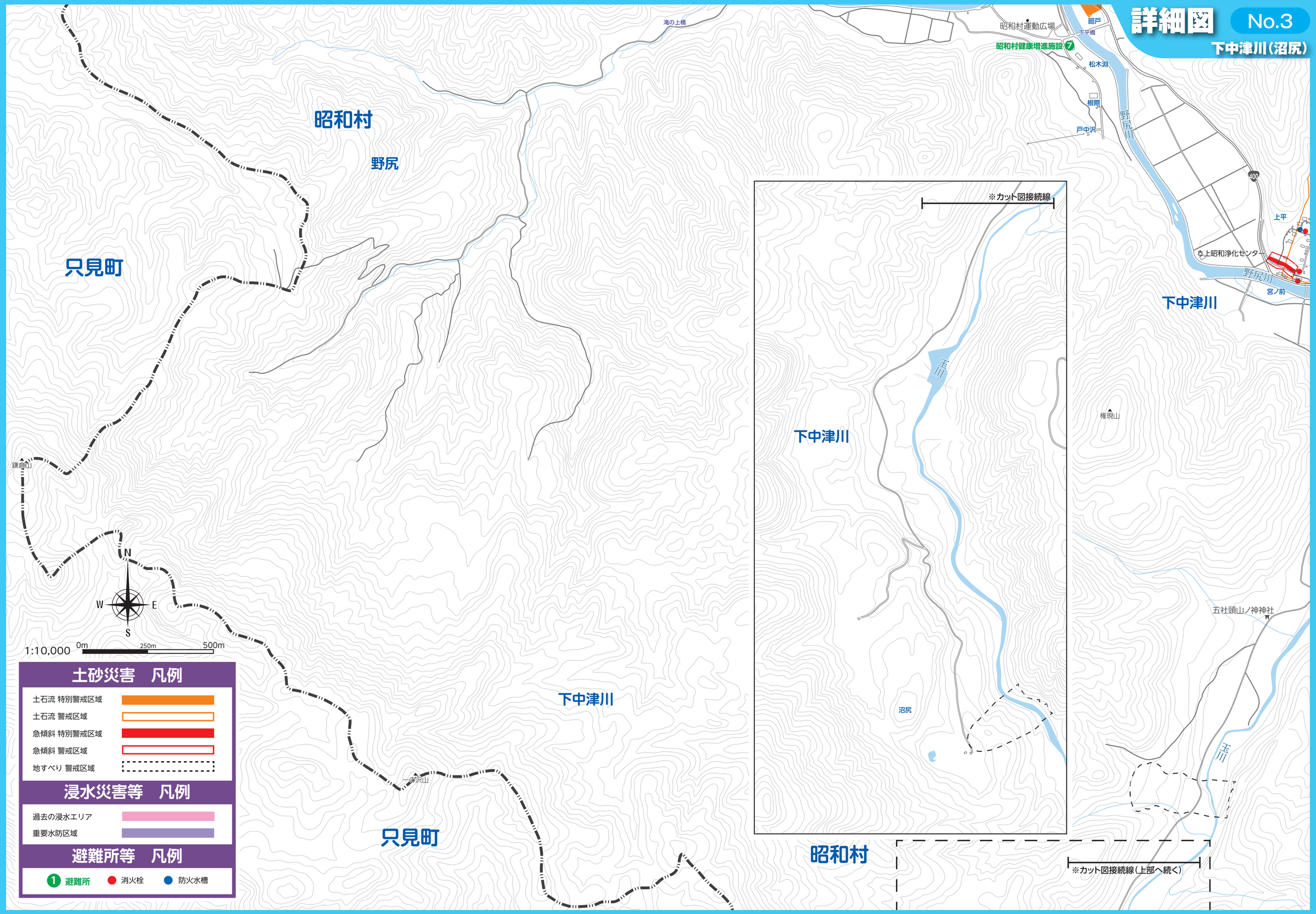
河川名	位　置
柳沢川	小中津川字折橋～石仏

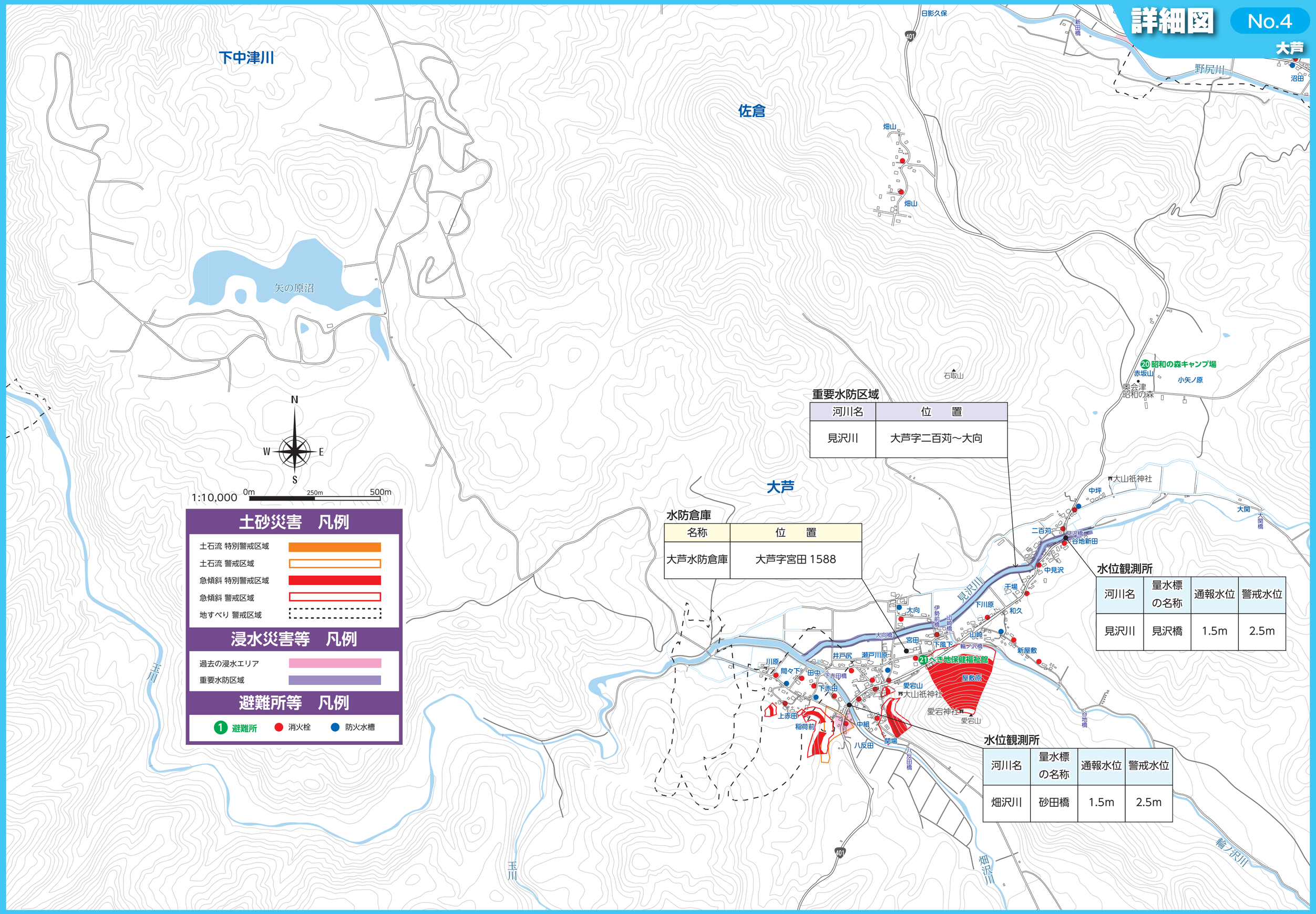
水防倉庫

名称	位　置
昭和水防倉庫	下中津川字中島向 1802-2

詳細図 No.3

下中津川（沼尻）





重要水防区域

河川名	位　置
見沢川	大芦字二百苅～大向

水防倉庫

名称	位　置
大芦水防倉庫	大芦字宮田 1588

水位観測所

河川名	量水標の名称	通報水位	警戒水位
見沢川	見沢橋	1.5m	2.5m

水位観測所

河川名	量水標の名称	通報水位	警戒水位
畑沢川	砂田橋	1.5m	2.5m

土砂災害　凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域
- 地すべり 警戒区域

浸水災害等　凡例

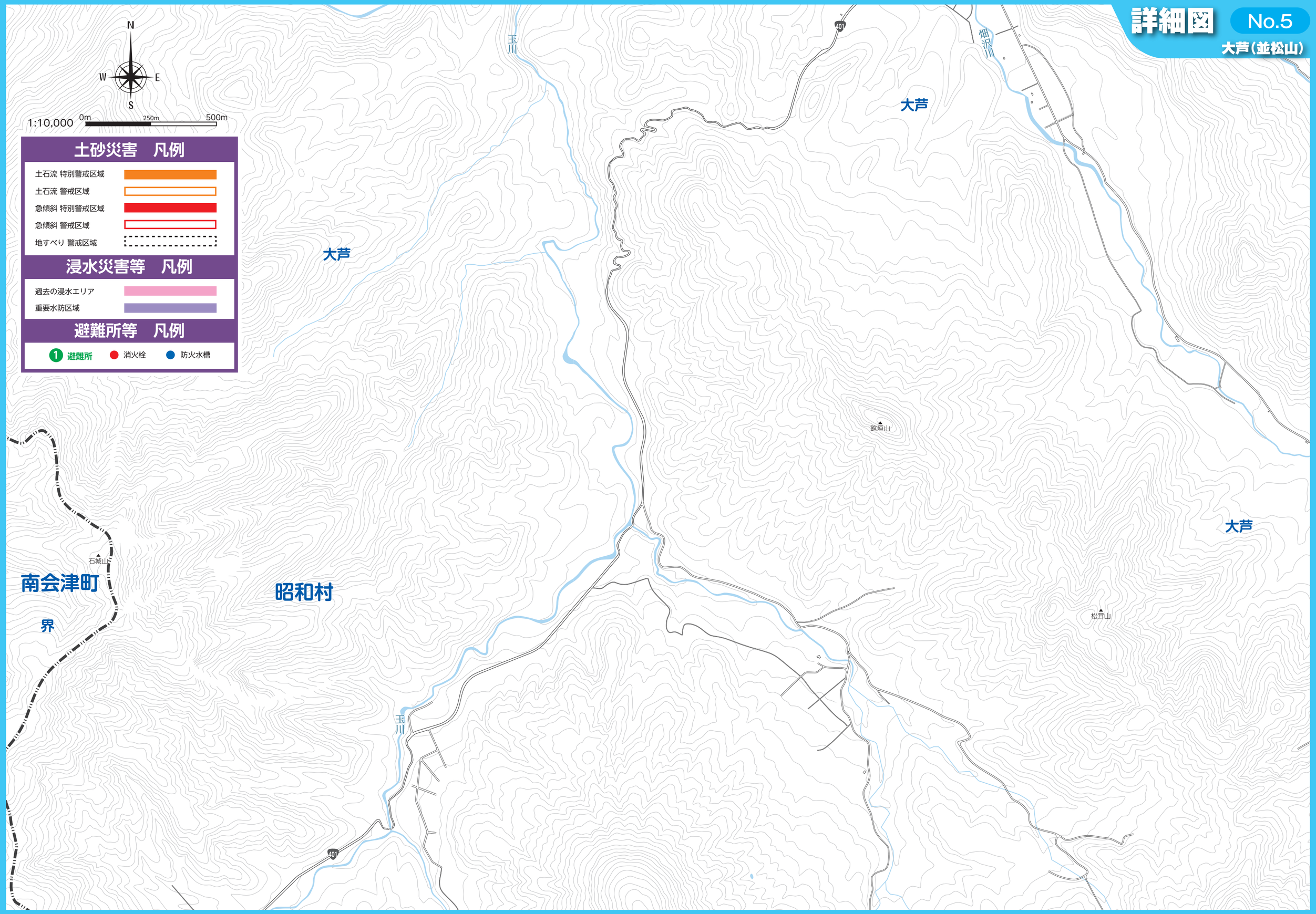
- 過去の浸水エリア
- 重要水防区域

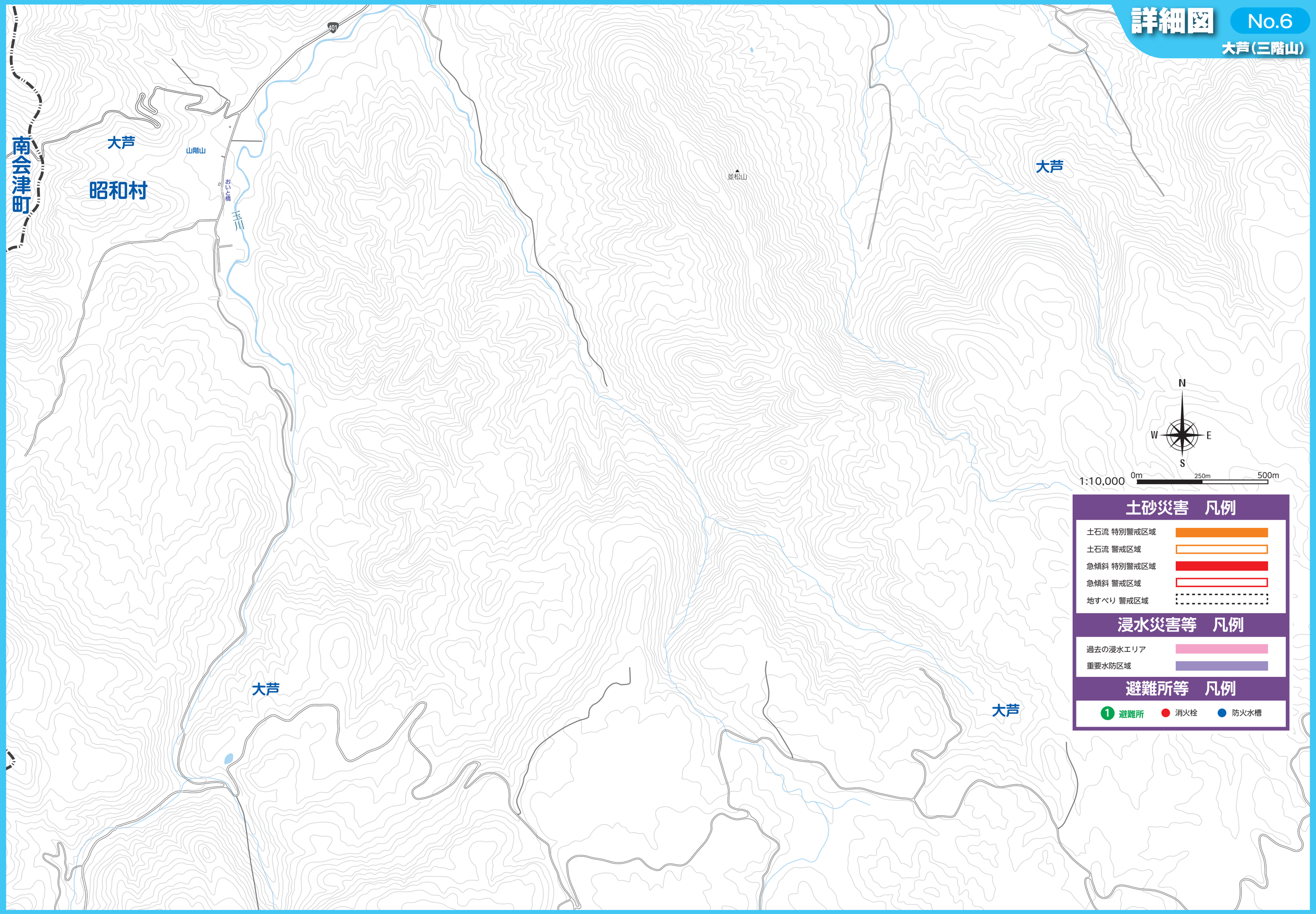
避難所等　凡例

- 1 避難所
- 消火栓
- 防火水槽

詳細図 No.5

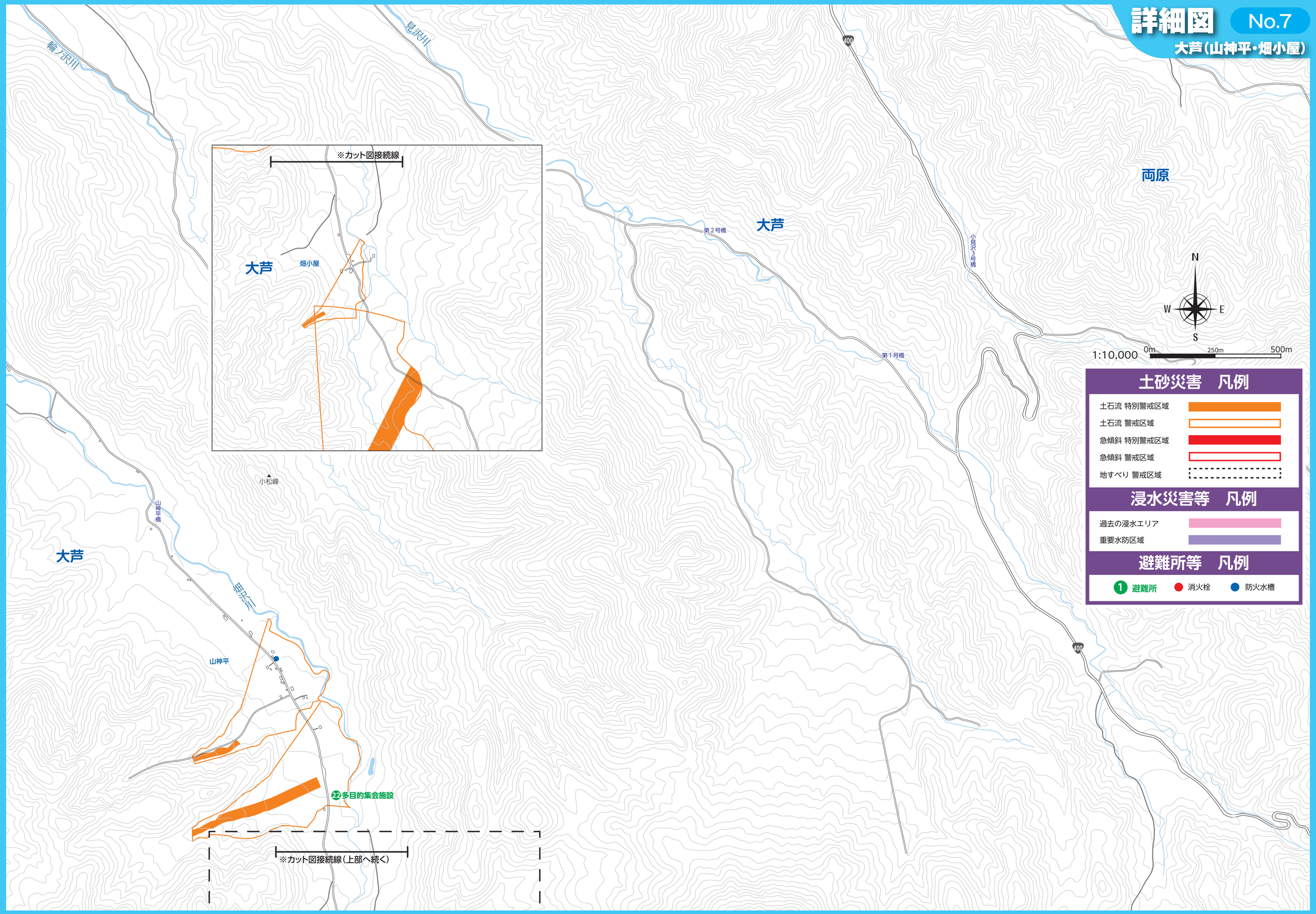
大芦（並松山）




南会津町
大芦
昭和村
山階山
おいと橋
玉川
401
並松山
大芦
大芦
大芦
N
W
E
S
1:10,000
0m
250m
500m
土砂災害　凡例
土石流 特別警戒区域
土石流 警戒区域
急傾斜 特別警戒区域
急傾斜 警戒区域
地すべり 警戒区域
浸水災害等　凡例
過去の浸水エリア
重要水防区域
避難所等　凡例
1 避難所
消火栓
防火水槽

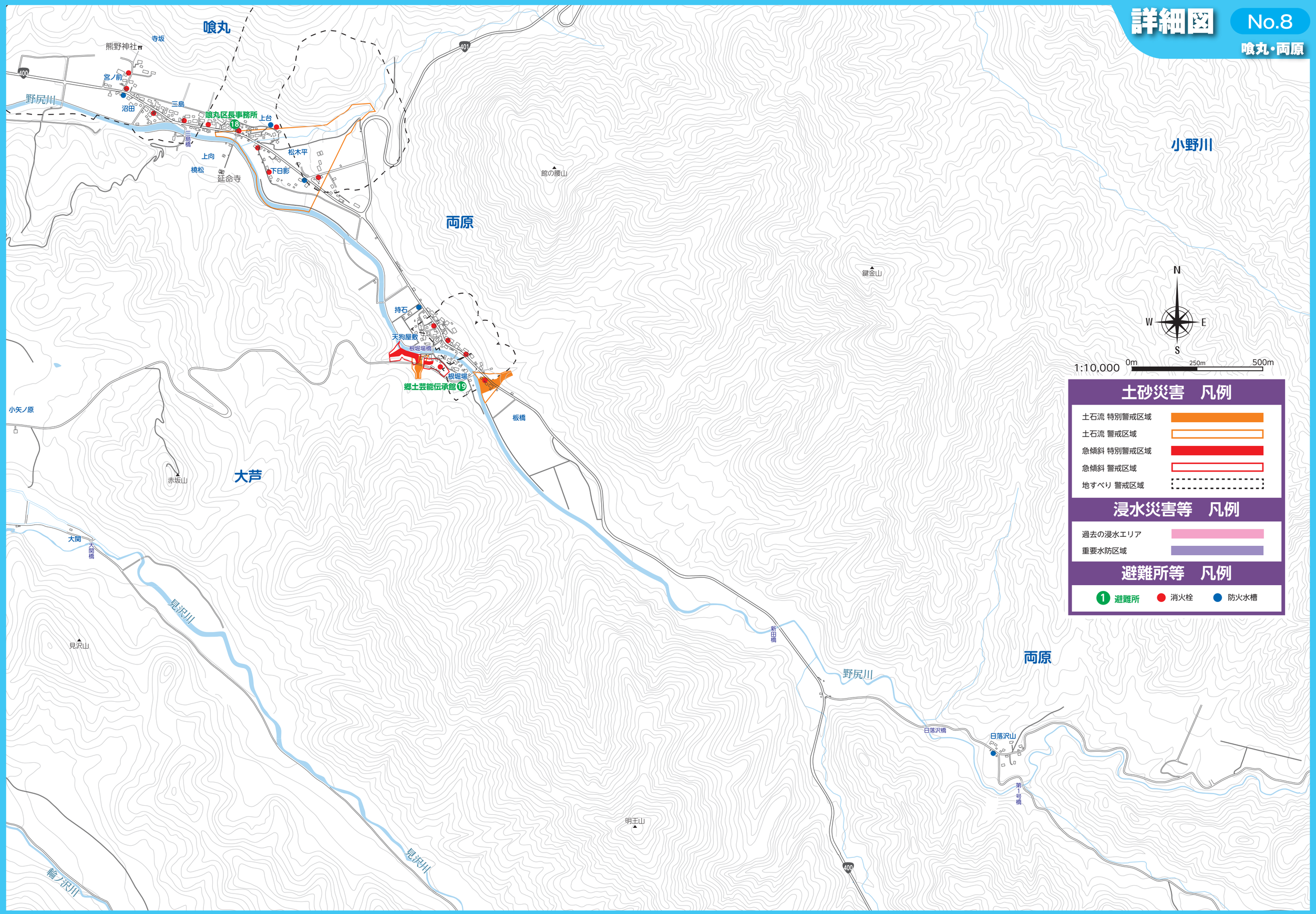
詳細図 No.7

大芦（山神平・畑小屋）

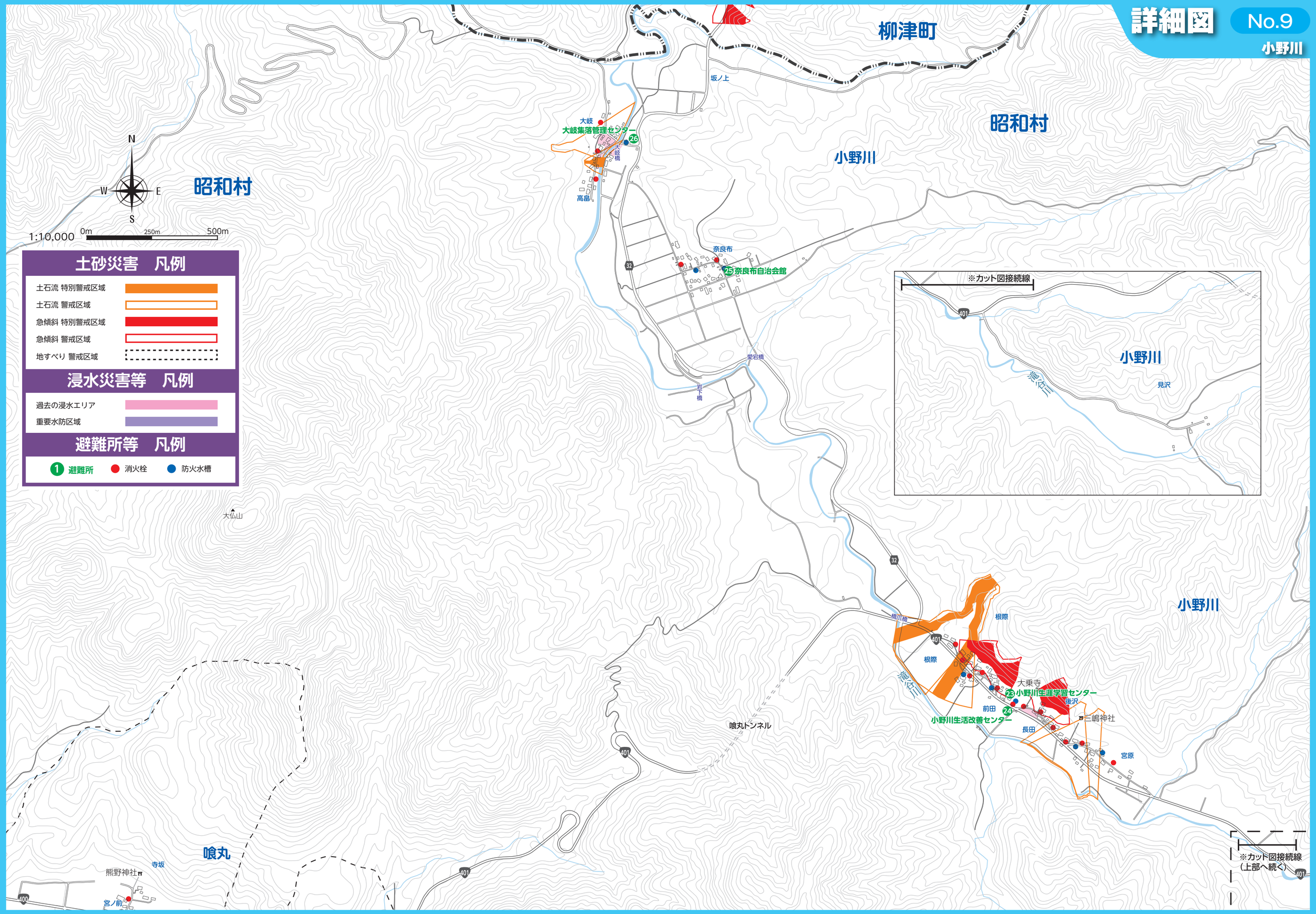


詳細図 No.8

喰丸・両原



喰丸
寺坂
熊野神社
宮ノ前
沼田
三島
野尻川
喰丸区長事務所
上台
上向
橈松
延命寺
松木平
下日影
館の腰山
両原
小野川
鍵金山
持石
天狗屋敷
根堀場橋
根堀場
郷土芸能伝承館
板橋
小矢ノ原
赤坂山
大芦
大関
大関橋
見沢川
見沢山
新田橋
野尻川
日落沢橋
日落沢山
第1号橋
明王山
輪ノ沢川
400
401
N
W
E
S
1:10,000
0m
250m
500m
土砂災害　凡例
土石流 特別警戒区域
土石流 警戒区域
急傾斜 特別警戒区域
急傾斜 警戒区域
地すべり 警戒区域
浸水災害等　凡例
過去の浸水エリア
重要水防区域
避難所等　凡例
1 避難所
消火栓
防火水槽


柳津町
昭和村
小野川
坂ノ上
大岐
大岐集落管理センター
26
大岐橋
高畠
奈良布
25 奈良布自治会館
32
愛宕橋
岩下橋
※カット図接続線
401
小野川
見沢
N
W
E
S
1:10,000
0m
250m
500m
土砂災害　凡例
土石流 特別警戒区域
土石流 警戒区域
急傾斜 特別警戒区域
急傾斜 警戒区域
地すべり 警戒区域
浸水災害等　凡例
過去の浸水エリア
重要水防区域
避難所等　凡例
1 避難所
消火栓
防火水槽
大仏山
根際
橋川橋
大乗寺
23 小野川生涯学習センター
後沢
前田
24
小野川生活改善センター
長田
三嶋神社
宮原
喰丸トンネル
喰丸
寺坂
熊野神社
宮ノ前
400
※カット図接続線
（上部へ続く）

早めの避難があなたの命を救います

〔洪水時には〕

洪水時に堤防が決壊した場合には、氾濫水の勢いで堤防近くの家屋は破壊されたり流失したりする可能性があります。
そのようなときに避難せず家屋にとどまっていた場合には、人命に関わる事態の発生も予想されます。
洪水時には上流域も含めた雨量や河川水位情報などを早くから収集し、村からの避難情報などにも注意しながら、堤防が決壊する前には必ず避難が完了するよう早めの行動を心がけてください。

インターネットを利用したリアルタイム情報提供

全国の河川の「雨量」「水位」「河川予警報」等の情報をリアルタイムで提供することにより、近年頻発している大雨・集中豪雨による水害・水難時の迅速・的確な避難等が可能になります。

国土交通省「川の防災情報」

・パソコンから　https://www.river.go.jp/
・スマートフォンから　https://river.go.jp/s/

福島県「河川流域総合情報システム」

・パソコンから
https://kaseninf.pref.fukushima.jp/gis/

本書の使い方

本書は、いつ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、常日頃から内容に目を通し理解を深めていきましょう。

本書の特徴

本書は、災害時に持ち運びができるように冊子型として作成しました。通常時は、壁などにピン留めして掲示するか、ヒモなどでつるし身近に置き、緊急時に持ち出してご活用ください。

発行：昭和村（問い合わせ：産業建設課 0241-57-2123）
https://www.vill.showa.fukushima.jp/
制作・著者：株式会社ゼンリン 郡山営業所
作成：令和4年2月

「この資料は、昭和村長の承認を得て、同村1/10,000昭和村管内図を使用したものである。（承認番号）令和2年6月16日 2昭産建第239号」